

# 仕 様 書

1 入札番号 総病管第 62-5 号

2 器械の名称及び数量 自動回転棚 1 式

## 3 機器の構成

### 1. 機器の構成(一式の構成)

- 1-1 中央材料室用回転棚【21 段】 1 台、【16 段】 1 台
- 1-2 手術室用回転棚【16 段】 1 台
- 1-3 管理システム 3 式

### 2. 自動回転棚の仕様

- 2-1 21 段・間口 1 ロタイプ 又は片面仕様とする
  - 2-1-1 機器寸法は、幅 3650mm 以下×奥行 1750mm 以下×高さ 3800mm 以下であること
  - 2-1-2 収納物条件として、収納棚あたり最大 150 k g 以上までの積載が可能でかつ棚偏荷重は最大 700 k g 以上であること
  - 2-1-3 収納棚は、ステンレス製であること
  - 2-1-4 棚有効寸法は、幅 3000mm×奥行 620mm×高さ 210mm 以下であること  
収納物は、不定形器材をメインとし、滅菌コンテナも収納できるものとする 滅菌コンテナで換算した場合、収納数は、フルサイズ (W300×L610×H210) 換算で 189 個/台収納可能又はミドルサイズの仕様は (W285×L463×H160) 換算で 210 個/台収納可能なこと
  - 2-1-6 操作盤は、棚番号より呼び出すテンキー操作又は設定順呼び出し方式、棚順番呼び出し方式の設定と付属のフットペダルによる足踏み操作で棚の上昇・下降が可能なこと
  - 2-1-7 操作盤は、液晶タッチパネル又は密封式シートスイッチを採用し、状態異常内容等具体的な表示ができるものとし、警告できることとする
  - 2-1-8 停電・故障時には、360° 回転可能な専用ハンドルを使い、手動操作できること
  - 2-1-9 電源は、3 相 GAC200V3. 0KVA 又は 4. 5KVA とする
  - 2-1-10 復電時の事故を防ぐため手動操作時は通常操作が出来ないようにインターロックをとること
  - 2-1-11 収納物を落下させた場合テーブル下より落下物を取り出すための扉を装備すること
  - 2-1-12 開口部寸法は、W3000mm×H465mm 以上でキレズ運用が可能なオートロック式シャッターを装備すること
  - 2-1-13 照明灯は開口部上部に LED 蛍光灯 2 灯装備すること
  - 2-1-14 照明灯は省エネルギーのため一定時間操作がない場合自動消灯し、再操作時再点灯する機能を有すること

- 2-1-15 取出し口全域に、重量部取出し用ローラーを装備すること
- 2-1-16 作業補助として開口部全域に 850mm 高さの作業テーブルを装備すること
- 2-1-17 メンテナンスは、設備前面から可能なものとする
- 2-1-18 以下安全装置を取り付けること
  - ・セーフティセンサ：装置外部より侵入物の挟み込みを防止するため開口部全域で、最小検出物体（直径 24mm 以上）を検出する機構を取り出し口に設ける
  - ・収納物はみ出しセンサ：収納物の挟み込みを防止するため取り出し口内側に設ける
  - ・一時停止釐：回転を一時的に停止する際に使用する
  - ・非常停止釐：非常時の急停止に用いる
- 2-1-19 迅速な収納取出しを行うため、7～9m/分の回転速度を有すること  
また、収納物保護のためスロースタート・スローストップの低騒音インバータ駆動であること
- 2-2 16 段・間口 1 ロタイプ 又は片面仕様が 2 台とする
- 2-2-1 機器寸法は、幅 3540mm 以上×奥行 1690mm 以上×高さ 3500mm 以上であること
- 2-2-2 収納物条件として、収納棚あたり最大 150 k g 以上の積載が可能でかつ棚偏荷重は最大 700 k g 以上とする
- 2-2-3 収納棚は、ステンレス製とする
- 2-2-4 棚有効寸法は、幅 3000mm×奥行 620mm×高さ 300mm 以下であること
- 2-2-5 収納物は、滅菌コンテナをメインとし、不定形器材も収納できるものとし、滅菌コンテナで換算した場合、収納数は、フルサイズ（W285×L588×H272）換算で 160 個/台収納でき、合計 320 個収納可能とする
- 2-2-6 操作盤は、棚番号より呼び出すテンキー操作で、設定順呼び出し方式、棚番順呼び出し方式の設定と付属のフットペダルによる足踏み操作で棚の上昇・下降が可能なこと
- 2-2-7 操作盤は、液晶タッチパネル又は密封式ソフトスイッチを採用し、状態異常内容等具体的な表示ができるものとし、警告できることとする
- 2-2-8 停電・故障時には、360° 回転可能な専用ハンドルを使い、手動操作できること
- 2-2-9 電源は、3 相 GAC200V3. 0KVA 又は 4. 5KVA とする
- 2-2-10 復電時の事故を防ぐため手動操作時は通常操作ができないようにインターロックをとること
- 2-2-11 収納物を落下させた場合テーブル下より落下物を取り出すための扉を装備すること
- 2-2-12 開口部寸法は、W3000mm×H465mm 以上でキレズ運用が可能なオートロック式シャッターを装備すること
- 2-2-13 照明灯は開口部上部に LED 蛍光灯 2 灯装備すること
- 2-2-14 照明灯は省エネルギーのため一定時間操作がない場合自動消灯し、再操作時再点灯する機能を有すること
- 2-2-15 取出し口全域に、重量部取出し用ローラーを装備すること
- 2-2-16 作業補助として開口部全域に 850mm 高さの作業テーブルを装備すること

- 2-2-17   メンテナンスは、設備前面から可能なものとする
- 2-2-18   以下安全装置を取り付けること
- ・セーフティセンサ：装置外部より侵入物の挟み込みを防止するため開口部全域で、最小検出物体（直径 24mm 以上）を検出する機構を取り出し口に設ける
  - ・収納物はみ出しセンサ：収納物の挟み込みを防止するため取り出し口内側に設ける
  - ・一時停止釦：回転を一時的に停止する際に使用する
  - ・非常停止釦：非常時の急停止に用いる
- 2-2-19   迅速な収納取出しを行うため、7～9m/分の回転速度を有すること
- また、収納物保護のためスロースタート・スローストップの低騒音インバータ駆動であること

### 3. 管理システム

- 3-1       管理ソフトが入ったパソコン・バーコードリーダー・バーコードラベルプリンター、プリンターを備え、滅菌器材のソフト管理が可能であること
- 3-2       管理ソフトを用いることにより、縦型自動回転棚の自動運転が可能であること
- 3-3       管理ソフトを用いて縦型自動回転棚を自動運転させた場合に、縦型自動回転棚のテーブル上に設けたポジションランプを点灯させることにより、取り出し器材を知らせることが可能であること
- 3-4       器材バーコードラベルを読み取ることにより、縦型自動回転棚を自動運転させ、入庫することができること
- 3-5       器材バーコードラベルを読み取ることにより、器材毎の滅菌期限（リフレッシュ期限）の管理が可能であること
- 3-6       物流管理システムから発行されたピッキングリストのバーコードを読み取ることにより、縦型自動回転棚を自動運転させ、出庫することができること
- 3-7       入庫した器材について、セット名称指定操作により、縦型自動回転棚を自動運転させ、出庫することができること
- 3-8       入庫した器材について、術式名称指定操作により、縦型自動回転棚を自動運転させ、出庫することができること
- 3-9       有効期限が過ぎている器材について、縦型自動回転棚を自動運転させ、出庫することができること
- 3-10      項目番号 3-6、3-7、3-8、3-9 に掲げる出庫方式において、一度に数個の出庫器材を指示することができ、指示したすべての器材の出庫が完了するまで、縦型自動回転棚を自動運転させ、出庫することができること
- 3-11      長期滞在している器材情報を表示させ、プリンターによる印刷が可能であること
- 3-12      器材のセット名称、術式名称の問い合わせ、登録、修正、削除が可能であること
- 3-13      縦型自動回転棚の保管管理において、診療科、セット名称、術式、滅菌有効期限、在庫数による在庫管理表示が可能であること
- 3-14      先入れ先出しの入出庫管理が可能であること

- 3-15 縦型自動回転棚の入出庫履歴について、入庫履歴・出庫履歴、緊急出庫履歴、有効期限切れ出庫履歴等をプリンターで印刷できること
- 3-16 器材の格納場所について、セツ毎に紐付られている診療科単位で場所を設定できること
- 3-17 指定された格納場所について、格納を禁止する設定（禁止棚）ができ、禁止棚が設定されている格納場所には器材を格納しないようにできること
- 3-18 1F 中央材料室の縦型自動回転棚と 3F 手術室の縦型自動回転棚の器材の在庫状況は、1F と 3F の両方のパソコンで確認できること
- 3-19 出庫指示を行ったフロア側の縦型自動回転棚に出庫対象器材の在庫が無く、別のフロア側の縦型自動回転棚に在庫がある場合は、画面上でわかるようにすること
- 3-20 管理システム用の電源（単相 GAC100V1.5KVA）とネットワーク LAN を装置近傍に設ける
- 3-21 器材に貼るバーコードラベルを、1F 中央材料室側のパソコンに接続したバーコードラベルプリンターより印刷ができること
- 3-22 バーコードリーダーは、無線タイプとすること

#### 4 その他

- (1) 搬入設置、撤去、運転調整（オンライン接続等含む）及び諸手続き一式を含む。
- (2) 機器は、本院の望む方法で本院の望む時期・場所に設置し、機器の設置に伴う設備工事費一式（二次側）を含む。
- (3) 本仕様書に明記されていない事項であっても、本装置の運用上必要な事項は怠りなく装備あるいは施工し、疑義については本院と協議し、その指示に従うこと。
- (4) 主要諸元はメーカーの仕様による。
- (5) 接続する電源系統の地絡の影響や、雷及び開閉サージ等の影響を受けない設備（器具）とするか、受けないよう保護設備を設けた設備（器具）とすること。
- (6) 電気容量、入力電圧、漏電対策について病院と事前に相談して必要な措置を講ずること。
- (7) 養生は受注者負担とする。

#### 5 搬入場所及び保守体制

- (1) 搬入場所  
静岡県立総合病院 先端医学棟・1F 中央材料室、3F 手術室
- (2) 保守体制  
本院から要請のあった場合は、迅速な保守サービスができる体制であること。  
納入後翌年度末までは、機器が正常に稼働するために必要な保守・点検（定期交換部品代含む）を無償ですること。  
機器の部品は準備し、適正な価格で供給すること。